

## 【参 考】

## しあわせ倍増プラン2017の達成状況

表1 平成30年度達成率評価（しあわせ倍増事業）

分野	事業数	達成率評価		
		目標を上回って達成	目標をおおむね達成	目標を未達成
1 子どものしあわせ倍増	11	0	9	2
2 家族のしあわせ倍増	13	4	8	1
3 高齢者のしあわせ倍増	7	3	3	1
4 障害者のしあわせ倍増	7	3	3	1
5 医療・福祉(健幸倍増)	10	2	7	1
6 文化・芸術による豊かさ倍増	5	0	5	0
7 市民・子どもの安心安全倍増	15	9	6	0
8 自然・環境倍増	4	0	3	1
9 暮らしやすさと絆の倍増	8	3	3	2
10 中小企業対策の強化と雇用倍増	10	4	4	2
全体	90	28	51	11
割合	100.0%	31.1%	56.7%	12.2%

図1 分野別の評価結果（しあわせ倍増事業）

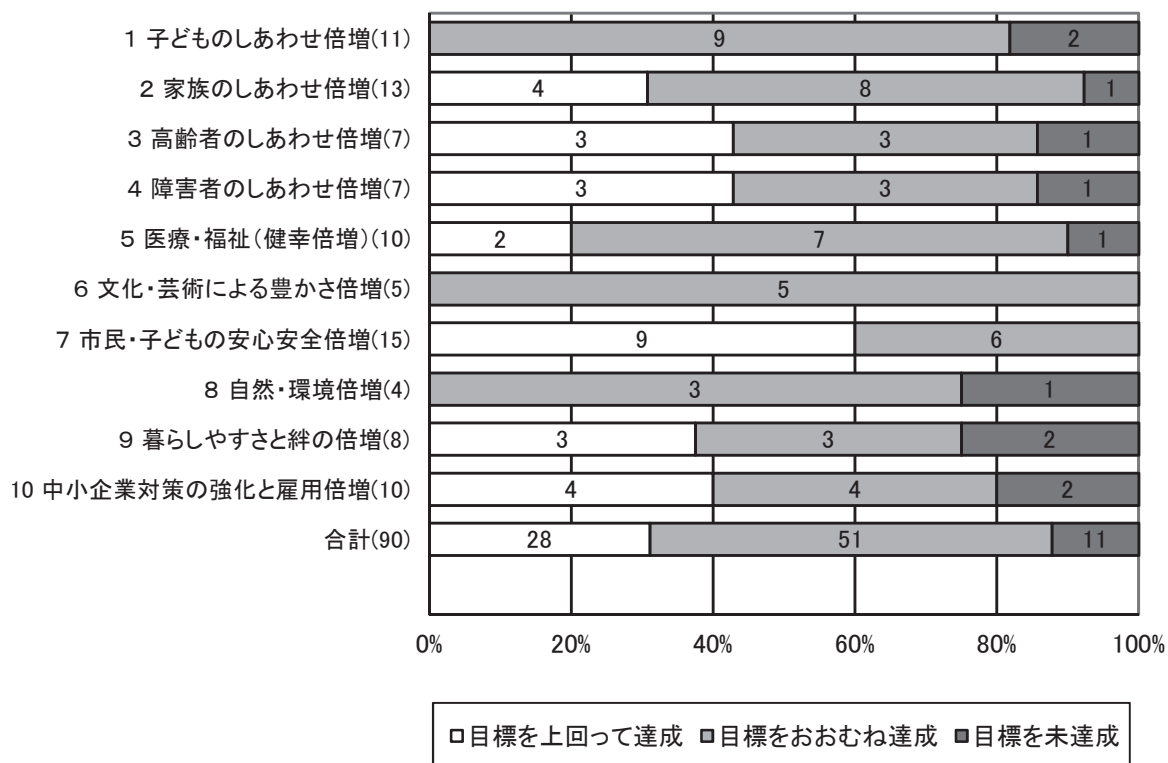


表2 平成30年度達成率評価（高品質経営プログラムの取組）

柱	取組数	達成率評価		
		目標を上回って達成	目標をおおむね達成	目標を未達成
1 見える改革	18	3	13	2
2 生む改革	18	5	12	1
3 人の改革	10	2	8	0
全体	46	10	33	3
割合	100.0%	21.7%	71.7%	6.5%

図2 柱別の評価結果（高品質経営プログラムの取組）

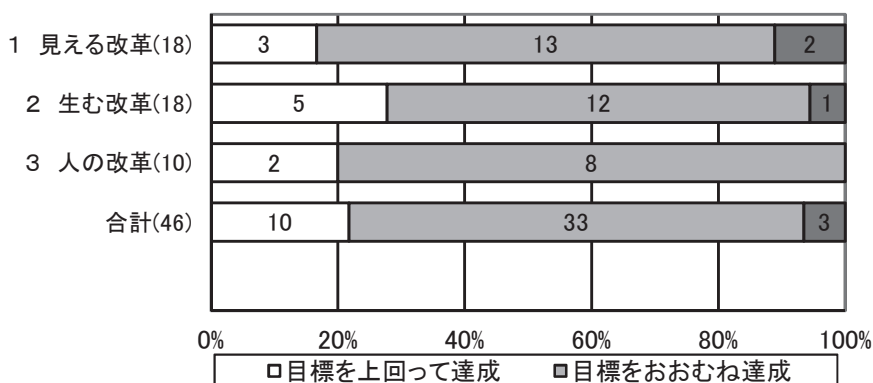


表3 目標指標に対する達成状況（高品質経営プログラムの取組）

	目標指標	R2 目標	H30 実績
見える改革	改革に対する評価	70%	49%
	職員に対するイメージ	70%	56%
生む改革	財源創出額	560 億円 (H29~R2 目標)	約 46 億円
人の改革	職員1人当たりの時間外勤務時間数	14.39 時間/月	16.09 時間/月
	ワーク・ライフ・バランスの確保	85%	68%
	働きがい	85%	74%
	改革・改善風土	85%	75%

表4 章別達成状況  
第2編 しあわせ倍増事業

章名		第1章	第2章	第3章
		子どものしあわせ倍増	家族のしあわせ倍増	高齢者のしあわせ倍増
評価	A		2-3 「子育て支援型幼稚園」認定制度の創設・普及 2-6 産後のケアの充実 2-7 余裕教室等を活用した放課後児童クラブの増設 2-10 多世代交流会食の支援強化	3-3 シルバーポイント(長寿応援ポイント)事業 3-5 宝来グラウンド・ゴルフ場の利用促進 3-7 認知症サポーターの拡充と認知症高齢者等の支援
	B	1-1 奨学金返済支援制度の創設 1-2 通級指導教室の拡充 1-3 特別支援学級の全校設置 1-4 学校のリフレッシュ計画の推進 1-5 学校トイレの洋式化等の推進 1-7 若者自立支援ルームの拡充 1-9 アクティブ・ラーニングの推進 1-10 未来(みらくる)先生を活用したキャリア教育の推進 1-11 学校・家庭・地域が連携した食育の推進	2-2 保育人材確保対策の更なる強化 2-4 不妊治療支援の充実 2-5 妊娠・出産包括支援センターによる支援 2-8 チャレンジスクールの充実 2-9 子ども家庭総合センターの整備・運営 2-11 スクールソーシャルワーカーの拡充 2-12 パパサンデーなど父親の子育て参加の推進 2-13 祖父母の子育て参加の推進	3-1 (仮称)セカンドライフ支援センターの開設 3-2 シルバーポイント(いきいきボランティアポイント)事業 3-4 アクティブチケット交付事業
	C	1-6 生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業 1-8 さいたま市学習状況調査等の活用	2-1 保育需要の受け皿の確保	3-6 東楽園の再整備
内訳	A	0事業(0%)	4事業(30.8%)	3事業(42.9%)
	B	9事業(81.8%)	8事業(61.5%)	3事業(42.9%)
	C	2事業(18.2%)	1事業(7.7%)	1事業(14.2%)
計		11事業	13事業	7事業

章名		第 4 章	第 5 章	第 6 章
		障害者のしあわせ倍増	医療・福祉(健幸倍増)	文化・芸術による豊かさ倍増
評 価	A	4-1 グループホームの拡充 4-2 「さいたまステップアップオフィス」の拡充 4-4 障害者就労施設等からの物品等の優先調達	5-8 高齢者の社会参加による地域包括ケアシステムの基盤構築 5-10 要介護状態の改善等に対する取組の促進	
	B	4-5 精神障害者を支える地域包括ケアシステムの構築 4-6 総合療育センターの機能の拡充 4-7 東京2020大会に向けたバリアフリー化等の推進	5-1 市立病院の建替と救命救急センターの新設 5-2 JCHOさいたま北部医療センターの移転建替 5-3 小児・周産期医療の充実 5-4 歯科口腔保健の推進 5-5 健康マイレージの拡大 5-6 データヘルス計画に基づく施策の推進 5-7 官民一体となった健幸都市づくり	6-1 岩槻人形博物館の整備等による人形文化の振興 6-2 文化芸術の創造拠点の設置 6-3 基金を活用した市民文化活動の支援の強化 6-4 市民参加型の特色のある国際芸術祭の開催 6-5 未来に向けた盆栽文化の継続・発展
	C	4-3 障害者の働く場づくりの推進	5-9 24時間訪問介護サービスの推進	
内 訳	A	3事業(42.9%)	2事業(20.0%)	0事業(0%)
	B	3事業(42.9%)	7事業(70.0%)	5事業(100%)
	C	1事業(14.2%)	1事業(10.0%)	0事業(0%)
計	7事業	10事業	5事業	

章名	第 7 章		第 8 章		第 9 章	
	市民・子どもの 安心安全倍増		自然・環境倍増		暮らしやすさと絆の倍増	
評 価	A	7-2 自転車通行環境の整備			9-2 身近な公園整備事業	
		7-3 自転車免許制度の全面实施			9-5 公園トイレのリフレッシュ計画の策定と推進	
		7-4 高齢者の交通安全教室の拡充			9-8 コミュニティバス等利用しやすい公共交通の推進	
		7-5 ゾーン30の整備推進				
		7-6 防災機能を持った地域拠点の整備支援				
		7-7 元消防職員による消防協力体制整備				
		7-10 「学校安全ネットワーク」の推進				
		7-11 WHOのセーフスクールの取組、成果の普及				
		7-14 市北部地域の治安確保の取組				
評 価	B	7-1 自転車のまちづくり「さいたまは一と」の推進	8-1 「四季の花に触れ合える街」づくりの推進		9-1 暮らしの道路・スマイルロード整備事業	
		7-8 防災アドバイザーの活用による地域防災力の強化	8-2 ホタル舞う水辺再生・サポート活動の推進		9-4 駅前公衆トイレのリフレッシュ計画の策定と推進	
		7-9 要配慮者が避難しやすい避難所の強化	8-4 見沼田圃基本計画の推進と新たな活用		9-7 人権が尊重される社会の推進	
		7-12 セーフコミュニティの推進(認証取得)				
		7-13 客引き行為等防止に向けた取組				
		7-15 犯罪被害者支援に向けた取組				
	C		8-3 高沼用水路の整備		9-3 自治会加入促進	
					9-6 きれいなトイレ・バリアフリートイレの登録制度創設	
内 訳	A	9事業(60.0%)	0事業(0%)		3事業(37.5%)	
	B	6事業(40.0%)	3事業(75.0%)		3事業(37.5%)	
	C	0事業(0%)	1事業(25.0%)		2事業(25.0%)	
計		15事業	4事業		8事業	

章名		第 10 章	
		中小企業対策の強化と雇用倍増	
評 価	A	10-3	女性と若者の創業支援体制の強化
		10-4	ソーシャルビジネスの推進
		10-5	障害者の就労機会の創出
		10-10	大型イベント等と連動した商店街支援事業
	B	10-1	中小企業の事業承継や継続などへの支援
		10-2	中小企業等の人材確保支援
		10-7	がん患者の就労機会の支援
		10-9	リーディングエッジ企業認証支援事業
	C	10-6	ニートの就労機会の創出
		10-8	CSRチャレンジ企業認証制度
内 訳	A	4事業(40.0%)	
	B	4事業(40.0%)	
	C	2事業(20.0%)	
計		10事業	

### 第3編 高品質経営プログラム

章名	第1章	第2章	第3章	
	見える改革	生む改革	人の改革	
評価	<b>A</b>	1-②-1 CS90運動の全市的推進 1-②-2 さいたまシティスタットの確立 1-③-8 小学校給食調理業務の委託化  2-①-6 市民保養施設のあり方の検討・決定 2-②-5 広告掲載による財源の確保 2-②-6 ふるさと応援寄附の充実と地方創生応援税制の活用 2-②-7 未利用市有地の有効活用 2-③-5 外郭団体の健全経営	3-①-1 働き方の見直しに資する取組の検討・調整・具体化 3-②-2 一職員一改善提案制度の推進	
	<b>B</b>	1-①-1 新たな情報発信媒体を活用した効果的な広報の推進 1-①-2 出前講座の推進 1-①-3 政策策定に資する広聴機能の充実 1-②-3 区役所窓口総合サービスの向上 1-③-2 対話型市場調査の導入 1-③-3 企業との連携・協定による公共的サービスの充実 1-③-4 PPP手法によるサーマルエネルギーセンターの整備 1-③-5 民間事業活用による公衆街路灯一斉LED化 1-③-6 下水処理センターにおける更なる民間力活用の推進 1-③-7 保育園用務業務等の委託化 1-③-9 学校用務業務の委託化 1-③-10 一般廃棄物収集運搬業務の委託化 1-③-11 大学連携の推進	2-①-2 補助事業等の見直し 2-①-3 情報システムの最適化の推進 2-①-4 公共施設マネジメントの推進 2-①-5 福祉施設の民間譲渡 2-②-1 市税の収納率の向上 2-②-2 介護保険料の収納率の向上 2-②-3 保育料の収納率の向上 2-②-4 公金の納付機会の拡大 2-③-1 水道事業の健全経営 2-③-2 下水道事業の健全経営 2-③-3 市立病院の健全経営 2-③-4 国民健康保険事業の健全化	
	<b>C</b>	1-①-4 マッチングファンド制度など市民協働、市民参画の拡充 1-③-1 提案型公共サービス公民連携制度の推進	3-①-2 早出遅出勤務制度の導入 3-①-3 庶務事務のシステム化の推進 3-①-4 業務の集約化・委託化等の推進 (仮称)市税事務所の開設による業務の効率化及び市税収入の増 3-①-5 文書事務の電子化 3-②-1 働き方見直しミーティングの推進 3-②-3 管理職への女性登用 3-②-4 人材育成の強化と育成システムの充実	
内訳	<b>A</b>	3事業(16.7%)	5事業(27.8%)	2事業(20.0%)
	<b>B</b>	13事業(72.2%)	12事業(66.7%)	8事業(80.0%)
	<b>C</b>	2事業(11.1%)	1事業(5.5%)	0事業(0%)
<b>計</b>	18事業	18事業	10事業	



## 成長加速化戦略の達成状況

表5 平成30年度達成率評価

7つのプロジェクト	事業数	達成率評価		
		目標を上回って達成	目標をおおむね達成	目標を未達成
1 東日本の中核都市づくりの推進・東日本広域経済圏構想	33	2	20	11
2 日本一安全で環境に優しい「都市の強靱化」	9	1	5	3
3 スポーツNo1都市戦略	6	2	3	1
4 国際観光都市 MICE 戦略・農業及び食を活用した観光産業戦略	9	1	4	4
5 健康産業育成・医療ものづくり都市構想	2	1	0	1
6 グローバル企業の育成支援・企業誘致の拡充と国際展開支援	4	2	0	2
7 グローバル時代の国際教育文化都市	9	2	7	0
<b>全体</b>	<b>72</b>	<b>11</b>	<b>39</b>	<b>22</b>
割合	100.0%	15.3%	54.2%	30.5%

図3 分野別の評価結果

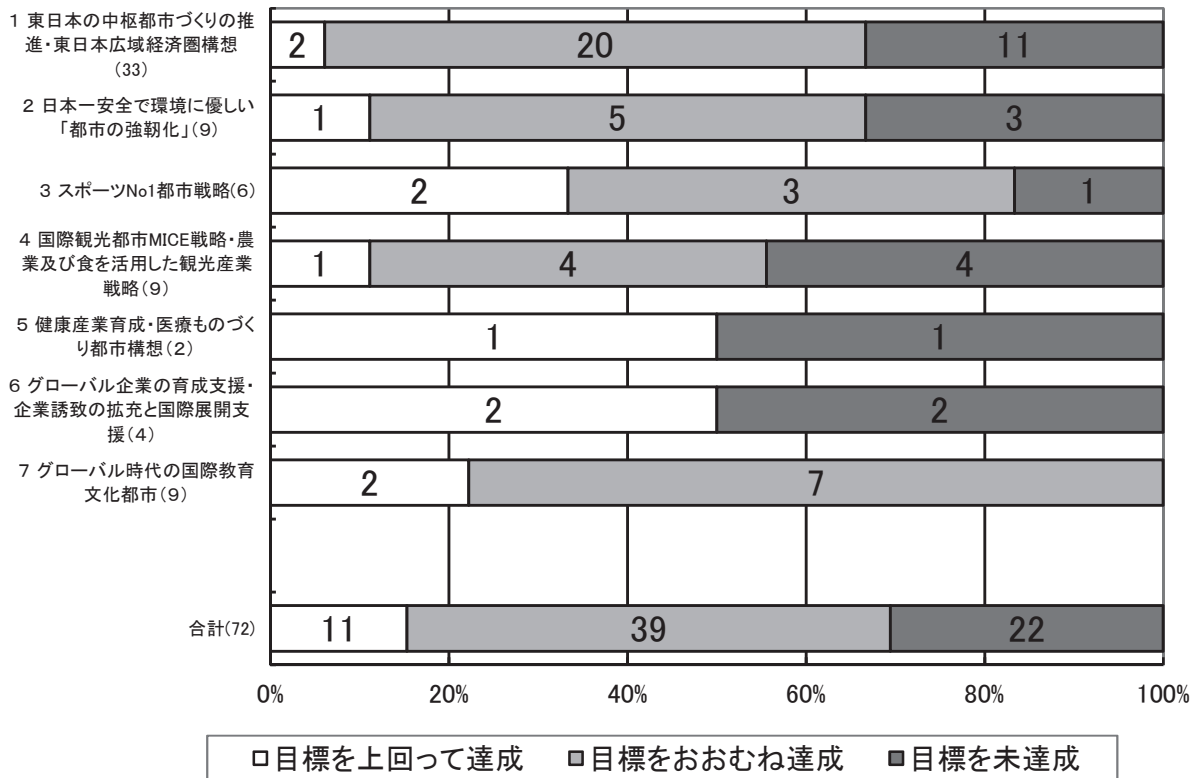


表6 プロジェクト別達成状況

7つのプロジェクト		1			
		東日本の中核都市づくりの推進・東日本広域経済圏構想			
評価	A	1-9 民間活力を生かした大宮駅周辺等のまちづくり	1-10 大門町2丁目中地区再開発事業の推進		
		1-1 大宮駅の機能高度化と交通基盤整備等の推進	1-3 新幹線大宮駅始発復活	1-4 地下鉄7号線の延伸	
		1-6 新大宮上尾道路の整備促進	1-7 首都高速道路埼玉新都心線の延伸の推進	1-11 大宮区役所新庁舎の整備	
	B	1-12 氷川参道環境整備	1-14 桜木駐車場用地活用事業	1-15 大宮駅西口第三地区の再開発などの推進	
		1-16 浦和駅西口のまちづくりの推進	1-17 副都心としての岩槻地区の都市機能の強化	1-18 美園地区のまちづくりの推進	
		1-19-1 中央区役所周辺の公共施設再編	1-19-2 与野中央公園の整備	1-19-3 与野本町駅周辺の利便性の向上	
		1-19-4 与野本町小学校複合施設整備事業	1-19-5 歴史を伝える本町通りのまちづくり	1-19-6 芸術劇場と地域が連携したまちづくり	
		1-20 未利用地の利活用の推進	1-21-4 区画整理等の推進(武蔵浦和駅周辺)		
		C	1-2 大栄橋の耐震化の推進	1-5 LRT(東西交通大宮ルート)の推進	1-8 空港アクセスの強化
			1-13 大宮駅周辺の旧中山道歩道整備・無電柱化	1-21-1 区画整理等の推進(日進駅・西大宮駅周辺)	1-21-2 区画整理等の推進(浦和美園駅周辺)
			1-21-3 区画整理等の推進(東浦和駅周辺)	1-21-5 区画整理等の推進(与野駅・南与野駅周辺)	1-21-6 区画整理等の推進(岩槻駅周辺)
			1-21-7 区画整理等の推進(組合土地区画整理事業)	1-22 東日本連携拠点を核にしたビジネス交流の推進	
内訳	A	2事業(6.1%)			
	B	20事業(60.6%)			
	C	11事業(33.3%)			
計	33事業				

7つのプロジェクト		2	3	4
		日本一安全で環境にやさしい「都市の強靱化」	スポーツNo1都市戦略	国際都市MICE戦略・農業及び食を活用した観光産業戦略
評価	A	2-7 元消防職員による消防協力体制整備	3-1 女子スポーツ支援事業 3-4 スポーツチームと連携した地域経済活性化	4-2 MICE施設の充実
	B	2-3 新“見沼セントラルパーク”の推進 2-4 防災都市づくり計画の推進 2-5 大規模火災から生命を守る広域避難場所の拡充 2-6 防災アドバイザーの活用による地域防災力の強化 2-9 無電柱化の推進	3-2 スポーツコミッション法人化推進事業 3-3 さいたまクリテリウムの民間移行 3-5 スポーツ施設の拡充とスポーツシューレの整備	4-4 地場産農産物の農商工連携やブランド化の推進 4-5 地域資源や食文化を活用した観光振興 4-6 見沼田圃基本計画の推進と新たな活用 4-9 民間と連携したシティセールスの強化
	C	2-1 さいたま市強靱化計画の推進 2-2 総合特区事業の推進 2-8 ハイパーエネルギーステーション等の市内拡大	3-6 スポーツ振興基金を活用した選手の競技力向上	4-1 次世代型スポーツ施設の誘致・整備 4-3 MICE推進事業 4-7 官民一体となったWi-Fi環境の整備 4-8 東日本連携広域周遊ルート事業
内訳	A	1事業(11.1%)	2事業(33.3%)	1事業(11.1%)
	B	5事業(55.6%)	3事業(50.0%)	4事業(44.4%)
	C	3事業(33.3%)	1事業(16.7%)	4事業(44.4%)
計		9事業	6事業	9事業

7つのプロジェクト		5	6	7
		健康産業育成・医療ものづくり都市構想	グローバル企業の育成支援・企業誘致の拡充と国際展開支援	グローバル時代の国際教育文化都市
評価	A	5-1 医療ものづくり都市構想第2期行動計画の推進	6-1 企業誘致支援の拡充とオフィス、産業用地創出 6-2 ドイツ・バイエルン州との経済連携の拡充	7-2 「グローバル・スタディ」推進事業 7-6-1 文化芸術を活用した福祉施策の拡充
	B			7-1 グローバル人材を育成する中等教育学校の整備 7-3 未来に向けた盆栽文化の継続・発展 7-4 (仮称)岩槻人形博物館の整備等による人形文化の振興 7-5 岩槻歴史街道事業の推進 7-6-2 アート・イン・スクール 7-6-3 文化芸術を活用した商業振興事業 7-7 市民参加型の特色のある国際芸術祭の開催
	C	5-2 技術力を生かした医工連携による企業支援強化	6-3 海外新市場への販路拡大と企業支援拡充 6-4 水道事業の国際協力拡大	
内訳	A	1事業(50.0%)	2事業(50.0%)	2事業(22.2%)
	B	0事業(0%)	0事業(0%)	7事業(77.8%)
	C	1事業(50.0%)	2事業(50.0%)	0事業(0%)
計		2事業	4事業	9事業

## まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況

表7 平成30年度達成率評価

基本目標	達成度評価		
	A 目標を上回って達成	B 目標をおおむね達成	C 目標を未達成
1 次代を担う人材をはぐくむ 「若い世代をアシスト」	1	6	3
2 市民一人ひとりが元気に活躍する 「スマートウエルネスさいたま」	3	7	1
3 新しい価値を創造し、革新（イノベーション）する 「産業創出による経済活性化」	8	7	5
4 自然と共生しながら、都市の機能を向上する 「上質なくらしを実現できる都市」	3	5	4
5 みんなで安全を支える 「安心減災都市」	5	13	3
再掲を含む1～5の合計（74項目）	20	38	16
（割合）	27.0%	51.4%	21.6%
再掲を含まない（72項目）	20	37	15
（割合）	27.8%	51.4%	20.8%

※1 評価対象外項目が1項目あります。

※2 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の積み上げと合計が一致しない場合があります。

図4 基本目標別の評価結果

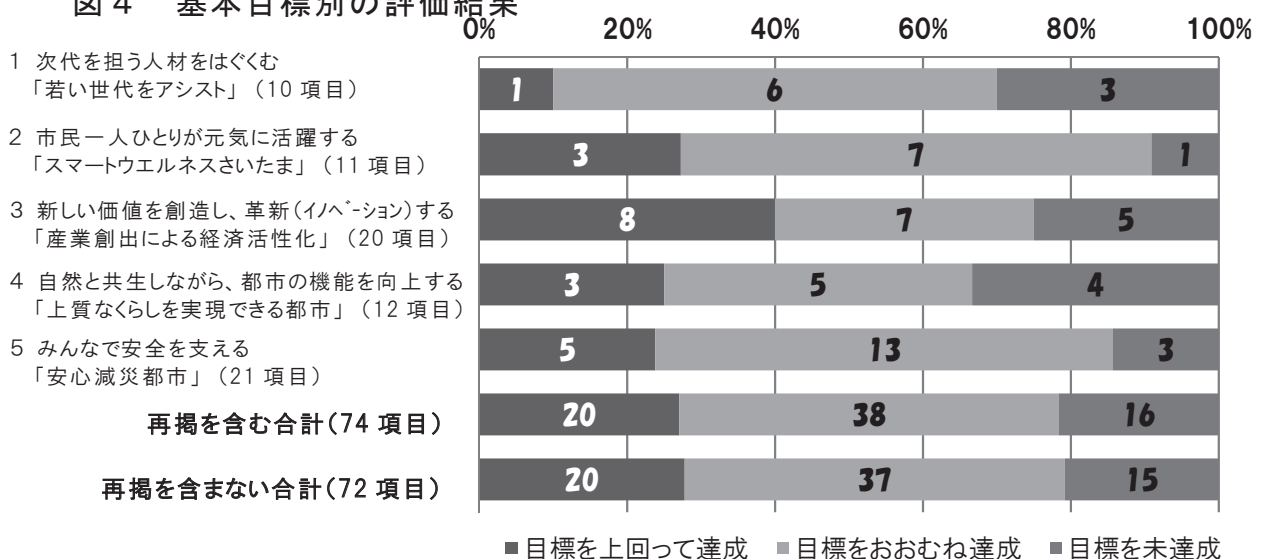


表 8 基本目標別の K P I 達成状況

基本目標	基本目標1		基本目標2		
	次代を担う人材をはぐくむ 「若い世代をアシスト」		市民一人ひとりが元気に活躍する 「スマートウエルネスさいたま」		
評価	A	122① 早期起業家教育事業参加者数	221③ アクティブチケット新規交付者数		
			222① 市民向け講演会の参加者数		
			222④ 認知症高齢者共同生活介護(グループホーム)の合計定員増加数		
	B	111② 放課後児童クラブ利用ニーズに対する入所者の割合	211② 特定健康診査受診率		
		112① 子育て支援センター(単独型)の男性保護者の利用者数、パパ・スクールの参加者数及び児童センターにおける父親参加型イベント参加者数	212① 週1回以上スポーツを実施している市民の割合		
		112② 親の学習事業の男性参加者の中で満足と回答した割合	221① シルバーポイント(いきいきボランティアポイント)事業の新規登録者数		
		112③ ワンストップ就職支援サービス利用者数	221② シルバーポイント(長寿応援ポイント)事業の新規登録者数		
		121① 全国学力・学習状況調査における各学校の平均正答率について、前年度より向上が見られた学校数(全国の平均正答率との比較による)	221④ シルバー元気応援ショップ協賛店舗増加数		
		121② 授業振り返りアンケートによる、「将来の夢や自分の役割について考え、それを実現させるためには努力が必要」だと感じた児童生徒の割合	222② リハビリテーション専門職の派遣回数		
			222③ 特別養護老人ホームの合計定員増加数		
	C	111① 待機児童数	211① 5がん検診の平均受診率		
		112④ CSRチャレンジ企業認証企業数			
		122② ニートの就労機会の創出事業による就職等進路決定者数			
	内訳	A	1事業(10.0%)	3事業(27.3%)	
		B	6事業(60.0%)	7事業(63.6%)	
C		3事業(30.0%)	1事業(9.1%)		
計		10事業	11事業		

基本目標	基本目標3		基本目標4	
	新しい価値を創造し、革新(イノベーション)する「産業創出による経済活性化」		自然と共生しながら、都市の機能を向上する「上質なくらしを実現できる都市」	
評価	A	311① 第2期行動計画に基づく個別企業に対する新規参入・事業拡大支援件数	412① 市内の次世代自動車普及台数	
		312① 産学連携マッチング件数	413① 特別緑地保全地区の指定	
		313② 若者創業数	421① 都市計画道路整備率	
		313③ ドイツ・バイエルン州との経済連携の拡充を通じた成約件数		
		322① 企業誘致件数		
		323① 連携事業数		
		323③ 物販イベント開催件数		
		324② 女性の再就職支援による就職者の割合		
	B	313① 女性創業数	411② 環境負荷低減計画提出者数	
		314① 入込観光客数	412② スマートホーム・コミュニティの整備	
		314② 関東ブロック以上のコンベンション開催件数	413③ 水辺環境美化活動(ホテル再生活動を含む。)の参加人数	
		315① 国際スポーツイベント等、関東大会以上のスポーツ大会の開催件数	421② 市内バス乗降客数	
		315② スポーツイベントの開催による経済効果(推計)	423② コミュニティサイクル利用回数	
		321① 課題解決社数		
		324① ワンストップ就職支援サービス利用者数[再掲]		
	C	311② 医療機器関連分野・ヘルスケア関連分野製品の商品化	412③ 認証スマートホーム戸数	
		313④ 海外新市場への販路拡大と企業支援拡充を通じた成約件数	413② 緑化協議により創出された緑化面積	
		314③ 関東ブロック以上のコンベンション開催による経済波及効果	422① 都心・副都心の土地区画整理事業及び市街地再開発事業の進捗率	
		321② CSRチャレンジ企業認証企業数[再掲]	423① 自転車通行環境整備延長	
		323② (仮称)東日本連携支援センター等での商談・打合せ件数		
	内訳	A	8事業(40.0%)	3事業(25.0%)
		B	7事業(35.0%)	5事業(41.7%)
		C	5事業(25.0%)	4事業(33.3%)
	計	20事業	12事業	

※再掲含む

※411①「エネルギーのスマート活用率」は評価対象外

基本目標		基本目標5	
		みんなで安全を支える 「安心減災都市」	
評価	A	511④	自転車盗件数
		522②	各区避難所運営訓練参加者数(対平成26年度(過去最大年度)比)
		522③	一斉帰宅抑制登録事業者数
		523②	水道管路の耐震化率
		523③	下水道老朽管渠の改築延長
	B	511①	交通事故件数
		511②	交通安全教室の受講者数(小学生までの子どもたちを対象)
		512②	市と市民活動団体との協働事業件数
		521①	暮らしの道路・スマイルロード整備事業の申請から2年以内で実施した着手率
		521②	下水道浸水対策事業の整備促進エリアの対策完了数
		521③	普通河川整備延長
		521④	防火地域及び準防火地域の指定率
		522④	消防団員の年間入団者数
		523①	市有建築物耐震化率
		523④	重要な下水道管渠(697km)の耐震化率
		523⑤	耐震化完了橋りょう数
		531①	さいたま新都心周辺地域が国の災害応急部隊の集結拠点として位置付けられること
		531②	新見沼セントラルパーク次期整備地区(約12ha)整備
	C	511③	防犯カメラ設置支援台数
		512①	自治会加入世帯数の増加
		522①	自主防災組織の結成率
内訳	A	5事業(23.8%)	
	B	13事業(61.9%)	
	C	3事業(14.3%)	
計		21事業	



## 各KPI項目の達成状況

基本目標(1) 次代を担う人材をはぐくむ「若い世代をアシスト」  
 基本的方向① 安心して子どもを産み育てることのできる環境づくり

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値【目標】	2018年度数値【実績】	評価
111①	2115	待機児童数	200人	393人	C
111②	2123	放課後児童クラブ利用ニーズに対する入所者の割合(注)目標年度の翌年度4月1日現在の利用ニーズに対する入所者の割合を目標年度の目標として評価	100%	96.7%	B
112①	2110	子育て支援センター(単独型)の男性保護者の利用者数、パパ・スクールの参加者数及び児童センターにおける父親参加型イベント参加者数	13,700人	12,628人	B
112②	2111	親の学習事業の男性参加者の中で満足と回答した割合	81.0%	81.9%	B
112③	5302	ワンストップ就職支援サービス利用者数	9,300人	9,884人	B
112④	5115	CSRチャレンジ企業認証企業数	25社	11社	C

基本目標(1) 次代を担う人材をはぐくむ「若い世代をアシスト」  
 基本的方向② 次代を担う子ども・若者の育成

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値【目標】	2018年度数値【実績】	評価
121①	3103	全国学力・学習状況調査における各学校の平均正答率について、前年度より向上が見られた学校数(全国の平均正答率との比較による)	115校	115校	B
121②	3125	授業振り返りアンケートによる、「将来の夢や自分の役割について考え、それを実現させるためには努力が必要」だと感じた児童生徒の割合	80%	78.1%	B
122①	5301	早期起業家教育事業参加者数	600人	1,100人	A
122②	5303	ニートの就労機会の創出事業による就職等進路決定者数	120人	98人	C

基本目標(2) 市民一人ひとりが元気に活躍する 「スマートウエルネスさいたま」  
 基本的方向① 市民一人ひとりの健幸づくり

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値【目標】	2018年度数値【実績】	評価
211①	2405	5がん検診の平均受診率(注)胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん検診の各受診率の平均受診率 算出方法: 受診者数/(対象年齢人口-国勢調査による就業者人口+農林水産業従事者人口) ※乳がん・子宮がん検診の受診者数は(現年度受診者数+前年度受診者数-2年連続受診者数)で算出	40.0%	27.8%	C
211②	2405	特定健康診査受診率	37.0%	36.9%(暫定値)	B
212①	-	週1回以上スポーツを実施している市民の割合	61.9%	62.8%	B

基本目標(2) 市民一人ひとりが元気に活躍する 「スマートウエルネスさいたま」  
 基本的方向② 高齢者が活躍するまちづくり

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値【目標】	2018年度数値【実績】	評価
221①	2202	シルバーポイント(いきいきボランティアポイント)事業の新規登録者数	1,500人	1,556人	B
221②	2203	シルバーポイント(長寿応援ポイント)事業の新規登録者数	4,500人	4,754人	B
221③	2204	アクティブチケット新規交付者数	4,900人	5,418人	A
221④	2205	シルバー元気応援ショップ協賛店舗増加数	60店舗	60店舗	B
222①	2412	市民向け講演会の参加者数	50人	93人	A
222②	2201	リハビリテーション専門職の派遣回数	250回	267回	B
222③	2212	特別養護老人ホームの合計定員増加数	349人	344人	B

222④	2212	認知症高齢者共同生活介護(グループホーム)の合計定員増加数	36人	45人	A
------	------	-------------------------------	-----	-----	---

基本目標(3) 新しい価値を創造し、革新(イノベーション)する「産業創出による経済活性化」  
 基本的方向① 企業間競争を勝ち抜くための高付加価値の産業創出

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値【目標】	2018年度数値【実績】	評価
311①	5205	第2期行動計画に基づく個別企業に対する新規参入・事業拡大支援件数	15件	23件	A
311②	5206	医療機器関連分野・ヘルスケア関連分野製品の商品化	3件	0件	C
312①	5201	産学連携マッチング件数	45件	63件	A
313①	5102	女性創業数	13件	13件	B
313②	5102	若者創業数	10件	16件	A
313③	5203	ドイツ・バイエルン州との経済連携の拡充を通じた成約件数	6件	11件	A
313④	5204	海外新市場への販路拡大と企業支援拡充を通じた成約件数	3件	1件	C
314①	-	入込観光客数	2,760万人(2018年)	2,572万人(2018年)	B
314②	7302	関東ブロック以上のコンベンション開催件数	140件	132件	B
314③	7302	関東ブロック以上のコンベンション開催による経済波及効果	95億円	79億円	C

315①	3306	国際スポーツイベント等、関東大会以上のスポーツ大会の開催件数	50件	50件	B
315②	-	スポーツイベントの開催による経済効果(推計)	412億円(2015年度からの累計)	累計433億円	B

基本目標(3) 新しい価値を創造し、革新(イノベーション)する「産業創出による経済活性化」  
 基本的方向② 多様な人が働ける環境づくりと就労の促進

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値【目標】	2018年度数値【実績】	評価
321①	5101	課題解決社数	65社	69社	B
321②	5115	CSRチャレンジ企業認証企業数[再掲]	25社	11社	C
322①	5209	企業誘致件数	10件	12件	A
323①	5104	連携事業数	15事業	27事業	A
323②	5105	(仮称)東日本連携支援センター等での商談・打合せ件数	50件	0件	C
323③	-	物販イベント開催件数	52回(2015年度からの累計)	58回	A
324①	5302	ワンストップ就職支援サービス利用者数[再掲]	9,300人	9,884人	B
324②	-	女性の再就職支援による就職者の割合	50%以上	65.9%	A

基本目標(4) 自然と共生しながら、都市の機能を向上する「上質な暮らしを実現できる都市」  
 基本的方向① ライフスタイルの転換を促す低炭素なまちづくりの推進

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値【目標】	2018年度数値【実績】	評価
411①	-	エネルギーのスマート活用率	14%	—	—
411②	1101	環境負荷低減計画提出者数	158件	168件	B
412①	1108	市内の次世代自動車普及台数	72,800台	78,396台	A
412②	1107	スマートホーム・コミュニティの整備	先導的モデル街区1街区整備	先導的モデル街区1街区(第2期)整備	B
412③	1107	認証スマートホーム戸数	認証スマートホーム250戸	0戸	C
413①	1303	特別緑地保全地区の指定	1か所(0.24ha)	2か所(0.97ha)	A
413②	4114	緑化協議により創出された緑化面積	15ha	7.6ha	C
413③	1302	水辺環境美化活動(ホテル再生活動を含む。)の参加人数	3,000人	3,231人	B

基本目標(4) 自然と共生しながら、都市の機能を向上する「上質な暮らしを実現できる都市」  
 基本的方向② 東日本のハブシティに向けた都市機能の向上

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値【目標】	2018年度数値【実績】	評価
421①	4307	都市計画道路整備率	52.7%	53.4%	A
421②	-	市内バス乗降客数	159,000人/日	166,981人/日	B

422①	-	都心・副都心の土地区画整理事業及び市街地再開発事業の進捗率	69%	66%	C
423①	4120	自転車通行環境整備延長	22km(総延長112km)	11km(総延長93km)	C
423②	4119	コミュニティサイクル利用回数	159,000回	154,013回	B

基本目標(5) みんなで安全を支える「安心減災都市」

基本的方向① 日頃から支え合う地域づくりの促進

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値【目標】	2018年度数値【実績】	評価
511①	-	交通事故件数	3,970件(2018年)	3,660件	B
511②	6202	交通安全教室の受講者数(小学生までの子どもたちを対象)	23,000人	23,018人	B
511③	6204	防犯カメラ設置支援台数	20台	7台	C
511④	6204	自転車盗件数	3,800件(2018年)	3,212件	A
512①	7201	自治会加入世帯数の増加	2,000世帯	848世帯	C
512②	-	市と市民活動団体との協働事業件数	516件	535件	B

基本目標(5) みんなで安全を支える「安心減災都市」

基本的方向② 災害に対する備えの強化

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値【目標】	2018年度数値【実績】	評価
521①	4118	暮らしの道路・スマイルロード整備事業の申請から2年以内で実施した着手率(注)申請から2年以内で実施した着手率とは、当該年度に工事着手した件数のうち、申請から2年以内の件数をいう。	83%	83%	B
521②	6303	下水道浸水対策事業の整備促進エリアの対策完了数	4か所	4か所	B

521③	6107	普通河川整備延長	1.2km	1.2km	B
521④	-	防火地域及び準防火地域の指定率	36%	36%	B
522①	-	自主防災組織の結成率	96%	92.2%	C
522②	6109	各区避難所運営訓練参加者数(対平成26年度(過去最大年度)比)	9割以上	10割以上	A
522③	6112	一斉帰宅抑制登録事業者数	30社	58社	A
522④	6119	消防団員の年間入団者数	70人	63人	B
523①	6106	市有建築物耐震化率	99.4%	99.4%	B
523②	6301	水道管路の耐震化率	47.6%	48.5%	A
523③	6304	下水道老朽管渠の改築延長	5km	6km	A
523④	6304	重要な下水道管渠(697km)の耐震化率	17%	17%	B
523⑤	6104	耐震化完了橋りょう数	1橋	1橋	B

基本目標(5) みんなで安全を支える「安心減災都市」  
 基本的方向③ 広域防災拠点都市づくり

KPIコード	総振コード	KPI項目名	2018年度数値 【目標】	2018年度数値 【実績】	評価
531①	-	さいたま新都心周辺地域が国の災害応急部隊の集結拠点として位置付けられること	—	—	B
531②	1307	新見沼セントラルパーク次期整備地区(約12ha)整備	環境影響評価の実施(準備書等の作成)	環境影響評価の実施(準備書等の作成)	B